飛翔OB会
同窓会報
平成31年３月２日
第 26 号

『感動一番・工大二高』

校長　明石　進

昨年の三月から急遽、二高に勤務することになり、六月に開催された東京同窓会に出席出来ず誠に申し訳ありません。当日は以前から京都での所用があり失礼いたしましたことを、お詫び申し上げます。

本校は開校以来「進学指導を重点とする」経営方針のもと四十四年を迎え、今では県内の私立高校の中では随一の進学実績を上げ、さらに、今年度から附属中学校を併設し、その地位を確固たるものにしたいと考えています。これらは偏に同窓生・保護者・関係各位の皆様の格段のご理解とご支援の賜物と感じております。

さて、生徒には全校集会などを通して、高校三年間で一度は体が震えるような感動を味わって欲しいとお願いしています。その時、使った言葉が「感動一番・工大二高」です。大学入試や就職試験、あるいは部活動や生徒会活動に本気になって取り組み、結果、嬉し涙と限らず、悔し涙でも感動することの重要性を伝えています。

また、本校で、単なる知識や技能だけでなく、集団生活を通して対人関係を学んで欲しいと思っています。知識や技能は書物を通して独学でも学ぶことは可能ですが、「人は人の中で人になっていく」と考え、授業時間だけでなく、学外活動にも積極的に参加させています。具体的に、ボランティア活動や同窓生の職業講話などを通して家族以外の大人と接することにより確かな社会性を身に付けさせたいと考えています。しかし活動後、単に「楽しかった」で終わらせずに、振り返って「どんなことが楽しかったか」等を意識化させるプロセスを踏むことにより、活動が体験、そして経験に変化し、経験となれば、この後同じことがあったとき、結果を予想出来る力を養われると考えています。

そのためにも同窓生の皆様の力を借りる場面が数多くあると思いますので、皆様のご活躍を祈念いたすとともに、母校への一層のご協力をお願い申し上げます。

三年間の高校生活を終え、前途洋々巣立って行く卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

皆さんはこれから大学や専門学校への進学、または企業への就職と、各方面へ船出をしていきますが、希望に胸膨らむと同時に社会の荒波に向かっての不安もあるのではないかと思います。私も約四十年前に工大二高を卒業と同時に京都の大学に進学を致しました。当時は東北新幹線も開通しておらず、決して裕福な家庭ではなかったので、夜行列車を乗り継ぎ京都の地まで約十四・五時間かけて行くという、まるで外国にでも行くような長旅で、その移動に要する時間と言葉の違いだけでも不安を覚えた記憶があります。

とは言え、二百名が居住する学生寮に入寮し、沢山の仲間と、親の目の届かぬ地での集団生活は毎日が楽しく、人生の中でも一番印象に残る時期だったことは間違いありません。

また一方で、世間では高校を卒業すればもう一人前の大人の扱いを受けることも教えられました。現在は既に選挙権は満二十歳から十八歳に引き下げられておりますが、二〇二二年には成年年齢の定義が四十年ぶりに見直され、現行の二十歳から十八歳に引き下げられると聞いております。

昨今は昔に比べ様々な誘惑が多く、犯罪行為に発展したり、巻き込まれたりすることも多々あります。特に目立つのは薬物犯罪、ＳＮＳが絡んだ犯罪、または振込詐欺やオレオレ詐欺等に関連した犯罪です。それと知らずに半ば利用された形で詐欺の受け子のように、むしろ被害者的な形で関わってしまうケースもあります。それらのことも踏まえて既に世間からは成人として見なされている訳ですので、自身の行動に対しては社会的責任を負わなければなりません。

また一度犯した罪に対しては、いくら反省したとしても、被害者側には一生悲しむ人がいます。犯罪を含め善悪の判断、及びそれを許すか許さないかは本人ではなく第三者が決めるものという認識を持たなくてはいけません。仕事でのミスをごまかす行為や車の運転事故でのひき逃げ行為等、または返す当てもない借金などで返済に困り人を傷つけることなど、決して許されることではありませんが、人は誰でもちょっとした魔がさすことも充分あり得ます。冷静な判断や年長者のアドバイスをいただきながらぶれない行動が求められると思います。

私自身も過去にはいろいろなことで後悔し、この年齢に至って感じることは、如何に自分に正直に対峙するかという事に尽きる様な気がします。例えば力不足を感じているのであれば努力をする必要があります。好きな人がいれば振られる覚悟でも気持ちを伝えなければ後悔します。お金が無くても身の丈以上の付き合いをしていては、結局最後は自分自身がお金に困る事になります。また、親への感謝の気持ちを示すには、生きているときにその言葉を伝えることが大切です。決して後悔の無い人生を送られますことを心よりお祈り致します。

結びになりますが、工大二高の同窓生、及び教職員や関係者の皆様の更なるご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

『ご挨拶』

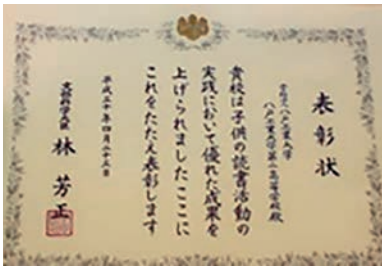
同窓会長　岩渕　義昭

読書活動優秀実践校として
「文部科学大臣賞」を受賞

この度、子供の読書活動優秀実践校として、高等学校26校中の1校に本校が選ばれました。また、4月23日、子どもの読書活動推進フォーラムにおいて表彰されました。

文部科学省では、平成14年度から子どもの読書活動の推進に資するため、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている学校、図書館及び団体等を表彰しています。平成30年度は表彰校として本校を含む計136校の学校が表彰されました。

本校では10分間の朝読書に全校で取り組み、毎朝の読書習慣を身に付けています。また、合わせて読書交流会「読書合宿」を毎年実施し、読書に親しむと共に本に関連したグループ活動を通して、コミュニケーション能力、表現力の育成を図ってきました。主にこの二つの取り組みが評価され、表彰にいたりました。



☆「朝読書」を通じた読書に親しむ態度の育成

平成25年より、教科の小テストやＮＩＥ活動日を除き、毎日実施しています。読書を通し穏やかな心で一日を始める学校生活づくりを徹底し、落ち着いた雰囲気で一日をスタートすることができています。

☆「読書合宿」を通じた読書活動の振興

1年に一度、全学年から希望者を募り、1泊2日の日程で読書合宿を実施しています。ビブリオバトル、講演会、ワークショップ、施設見学、読書会、読書会ポスター制作といった多様な活動を通した主体的、協働的学びを「読書合宿」として進めています。これらの取組により、「楽しみながら理解を深める新しい読書スタイル」を生徒に提供し、朝読書の土台の上に築かれた発展的取り組みとして、高校時代に留まらず、生涯読書に親しむ態度を育成しています。

また、全国高等学校ビブリオバトル東北大会に学校代表が出場し、東北地域の高校生のプレゼンテーションの工夫を学ぶとともに、読書を通じた交流を深めています。平成28年度は参加生徒が準チャンプ本を獲得しました。

仙台市で開催されたビブリオバトルシンポジウム２０１６では、ポスターセッションに参加した生徒が読書合宿についてプレゼンテーションし、ビブリオバトル普及委員会特別賞を受賞しました。

今まで朝読書に毎日取り組み、さらに読書合宿でさまざまな活動に楽しみながら挑戦して、伝統を築いてくれた二高生と、図書館や書店等「本のまち八戸」を謳う地域の皆様のご協力のおかげで、このような賞をいただくことができました。

卒業生の方々を含め、この場を借りてみなさまに感謝を込めてご報告いたします。ありがとうございます。

二高附属中学校 開校

昨年の4月6日、開校式を挙行し、『進学重視型』中高一貫教育をスタートさせました。たくましい心と創造性にあふれ物事を理解する力、互いに協力していく心と態度を育て、地球社会の未来に貢献する地域や日本のリーダーとなる人材を育てることを教育方針とし、この一年は様々な教育プログラムを実施してきました。今後も、サイエンス教育・グローバル教育、ヒューマン教育を推進し、人材育成に努めていきます。

二高附属中学校について、詳しくは二高ホームページをご覧下さい。

www.fuchu.kodai2-h.ed.jp

☆第1回校外学習
八戸を学ぶ「八戸楽」

☆青森県議会を見学

☆科学の甲子園ジュニア
全国大会出場

☆サイエンス基礎講座

第39回 青森県高等学校総合文化祭美術部門
最優秀賞２名 優秀賞１名 受賞

昨年10月12日～14日、青森県立美術館で青森県高校総合文化祭美術部門が開催されました。本校からは美術コース二年生の種市萌さんと小保内亜海さんが最優秀賞、吉田涼那さんが優良賞を受賞しました。最優秀賞は２名の枠で、２名受賞は本校では初めてのことです。最優秀賞の２名は、青森県から7人が選抜される全国大会の出品者に決定しています。

以下、最優秀賞を受賞した生徒二人の感想を紹介します。

種市萌さんの作品　「出現」

○種市萌さんの感想

作品を作る中で意識したのは、見る人の足を止めるような、強い印象の絵にすることでした。そのためにはインパクトのある構図と色彩が必要です。描くモチーフは、重厚な機械と、強い意志を持って立つ人物像にしました。特に蒸気機関車に興味があり、公園に設置された古いD51を観察して描きました。構図はシンメトリーに近いものにして、色は青とオレンジを対比させる配色を考えました。これからも、絵を描ける環境に感謝し、自分の絵に向き合いながら、より良い作品を作っていきたいです。

小保内亜海さんの作品　「生命」

○小保内亜海さんの感想

人間の骨格に興味があり、どうしても描きたかったです。しかし、実際に骨格を見ることは難しいものです。そこで大きな病院に問い合わせ、本物の骨格を見学することにしました。本物は驚くほど形が複雑で、迫力がありました。画材は日本画で制作することにしていました。日本画の画材はとても綺麗でした。今回の作品は、本物の骨が持つ迫力と、日本画画材の材質感に助けられたと思います。良い作品になるには、自分の目で見たものの迫力と、画材の魅力を上手く引き出すことが大事だと感じました。

二高の先生方へインタビュー ～秋山　恭　先生～

◎今年度で還暦を迎えられた秋山の先生にお話を伺いました。

☆これまでの教員生活を振り返っての思い出を聞かせてください。

―初めて二高で「先生」と言われたときの記憶は、今でも鮮明である。中学時代の先生に、「おまえは教師に向いている」と言われ、その時から、何となく自分は教師になる、と言う気持ちを持ち続けていたように思う。

しかし、実際になってみると、生徒たちは極めて腕白、加えて勉強は好きではない、という。二年目に担任をすることになり、嫌いでも続けることの大切さを三年間話していたように思う。

勉強に興味のない子たちには部活動を勧めていた。高校最初の部活動はサッカー部で、これまた個性あふれる者の集まりだった。けれども、その時のメンバーは年も近かったせいもあり、すぐに打ち解け、一緒にボールを追いかけたものだ。

あれから三十七年たった。その時のメンバーも、いいおっさんになっているだろう。会って、あのころの思い出を話してみたいと思っている。

☆同窓会の皆さんへ一言お願いします。

―時代が変わっても、二高の根っこは変わっていない。やる時はやる、やることも最後までやる、ということだ。

四十年以上の伝統を積み重ねてきた二高もまだまだ若い学校である。将来を見据えた自分を忘れず、やり続けることを放棄しなければ、目標は達成できるのだ、ということを胸に刻み、仲間とともに歩んでほしい。それが新しい二高の歴史の一ページとなり、伝統となっていくはずだから。

住吉 治彦さん（0回生） 文部科学大臣賞受賞

昨年８月、住吉治彦さん（0回生・同窓会相談役）が、ＰＴＡ活動振興功労者として文部科学大臣賞を受賞しました。住吉さんは、二高のＰＴＡ会長をはじめ、青森県高等学校ＰＴＡ連合会副会長を２００６年から８年間、会長を14年から２年間務めました。東北地区高等学校ＰＴＡ連合会会長や全国高等学校ＰＴＡ連合会理事も務め、高校生賠償責任補償制度の充実や進路に関する高校生と保護者の意見調査を実施し、報告書を取りまとめるなど尽力なさいました。今後は、同窓会の立場で、引き続き二高を応援したいとのことです。おめでとうございます。

大庭れいじさん（8回生）監督
短編映画「マイホーム」
海外国際映画祭で数多く入賞！

昨年12月19日、本校卒業生の大庭れいじ（本名木村克之）さん（8回生）が、母校である二高で自身が監督した短編映画「マイホーム」の上映会を行いました。

この作品は、東日本大震災で犠牲になられた方々の魂に捧げた作品で、蕪島、大須賀海岸、朝市で撮影が敢行された、上映時間22分22秒の短編映画となっています。海外の映画祭では、この作品が評価され、ベネズエラで特別シナリオショートフィルム賞を、インドでショートフィルム名誉賞に選ばれました。

上映会当日は、出演者の紹介や挿入歌を歌っている小田桐努さん（19回生）による弾き語り演奏などが行われ、大いに盛り上がりました。今後の益々のご活躍を期待しております。

平成30年度同窓会新幹事決定

〈関東地区幹事〉

一組　佐々木龍也
二組　清水　亮維
　　横地　和明
　　松林　佳歩
三組　濱久保佑太
　　竹谷　明莉
四組　河津　大斗
　　平戸　拳聖
五組　橋本　圭悟
　　濱浦　莉乃
六組　滝沢　友那
　　川井　梨花
　　川口　舞
七組　水谷　祐
　　信田　優花

〈仙台地区幹事〉

一組　石倉　未悠
二組　釜石　雄平
　　松田愛友美
三組　梅津　志帆
　　田名部睦乃
四組　小笠原史己
　　亀谷涼太朗
五組　黒坂　拓矢
　　官代　悠佑
六組　深川　奎怜
　　三浦　茜
七組　大橋ののか
八組　大久保優花
　　菅原　優

〈八戸地区幹事〉

一組　船越　奈央
二組　中村　辰平
　　本田　碧
三組　佐々木　蓮
　　鹿内　美緒
四組　内田　海登
　　齋藤　大樹
五組　荒道　悠大
　　折川かのん
六組　佐藤明日香
　　川村　祐稀
七組　蔵谷　健太
　　長谷川祥子
八組　荒木田琴音
　　福山　明里

宜しくお願いします。

各支部の行事予定

第42回同窓会　関東支部総会
2019年6月22日（土）
18時開会
お茶の水ホテルジュラク
（東京都千代田区神田淡路町二－九）
電話（〇三）三二五一－七二二二
会費　二千円

第21回同窓会　仙台支部総会
2019年6月8日（土）
18時開会
千の庭
（仙台市青葉区中央三－六－一ヤマダ電機（ＬＡＢＩ）八階）
電話（〇二二）七三八－八五二三
会費　二千円

第44回同窓会　納涼パーティー
2019年8月10日（土）
18時開会
八戸パークホテル
（八戸市吹上一－十五－九十）
電話（〇一七八）四三－一一一一
会費　二千円

皆様、お誘い合わせの上、是非ともご参加ください。

結婚しました

大西　靖司さん（24回生）
高橋（住吉）貴恵さん（31回生）

おめでとうございます。結婚披露宴の日時を連絡頂きますと本部事務局より祝電を差し上げますのでご連絡下さい。

ホームページアドレス
http//www.kodai2-ob.com/

☆☆会員からのメール☆☆

本城修宏さん（11回生）
鍼・灸　江陽台治療院を開業して平成30年6月で20周年を迎えました。地域のためにこれからも頑張りたいと思います。

川崎竜二さん（42回生）
4月から、現在の就職先でHP制作の仕事に就き、日々頑張っています。

見付春香さん（43回生）
楽しく過ごしています。友達もできました。

物故者

前二高同窓会副会長　青池俊司さん（14回生）
兵藤　直さん（27回生）
ご冥福をお祈り致します。

卒業生からの声

「挑戦の中で得たもの」

金濵　慎吾

二高での生活を振り返り、今までを一言で表すと、「挑戦」だ。ボランティア活動や学外学習、高校から新しく始めた部活動など、高校生活は私にとって大きな挑戦の連続だった。

これまでボランティア活動には参加したことがなく、単純な興味で参加を始めた。しかし、子供たちと接したり、地域のことを調べたりするうちに八戸そして子供に関わることが好きになり、将来の夢もその中から見つけることができた。

そして部活動。もともと写真を撮ることが好きだったので写真部に入ったが、心身を鍛えたいという思いもあったので、ラグビー部にも入った。相反する部活動に見えるが、この2つには「一瞬一瞬を見逃さずに次の予測を立てる」という共通点があり、その点を身につけ伸ばすことができた。

これまでの経験から、挑戦して何かを得ることは、自身の成長につながることを学んだ。多くの経験を与えてくれた先生方や両親に感謝すると共に、この学び舎を卒業できることを誇りに思う。

「二高で過ごした三年間」

葛西七海帆

二高で過ごした3年間で私は、気の合う友人や尊敬できる先輩、先生方に出会うことで、目標を持って美術や勉強、部活動に向き合い、充実した日々を送ることができた。

部活動では、発足したばかりの女子サッカー部に所属し、初勝利を目標に練習を重ねることで、チーム内の固い結束力や強い絆を感じることができた。ただ楽しい訳ではなく、仲間と励ましあったり、ミスをフォローしながら協力して一勝できた瞬間、今までにない達成感を味わえた。仲間の支えがあったからこそ、3年間楽しく部活動に励むことができた。

また美術の授業でも、友人や先生のおかげで、制作をスムーズに進められた。自分にはない他者の客観的な意見を知ることで、自分の考えを深められ、成長に繋がったと感じている。卒業後は、これから出会う多くの人と協力し合いながら、自分自身を成長させていきたい。最後に、3年間支えてくれた先生方、友人、そして両親には大変感謝している。本当にありがとうございました。

二高のこの一年

〈3月〉二日に卒業した43回生の進路報告をいたします。室蘭工業大学、北海道教育大学４名、釧路公立大学、弘前大学２名、青森県立保健大学２名、青森公立大学２名、岩手大学３名、秋田大学、秋田公立美術大学２名、山形大学４名、筑波大学、埼玉大学、新潟大学、長岡造形大学、長野大学、愛知県立芸術大学、以上の国公立大学で28名合格を果たしました。国公立短大では、岩手県立盛岡短大、山形県立米沢女子短大、以上の２名が合格しました。また私立大学では、札幌学院大学３名、札幌大学、札幌国際大学２名、北海道医療大学２名、日本医療大学、北海道薬科大学、青森大学、青森中央学院大学２名、八戸学院大学８名、八戸工業大学23名、岩手医科大学、岩手保健医療大学、東北学院大学６名、仙台大学、宮城学院女子大学３名、仙台白百合女子大学、尚絅学院大学、東北福祉大学２名、東北文化学園大学３名、日本赤十字秋田看護大学、東北芸術工科大学６名、つくば国際大学、共愛学園前橋国際大学、埼玉医科大学、東都医療大学、日本医療科学大学、川村学園女子大学、青山学院大学、亜細亜大学、北里大学、共立女子大学、杏林大学、駒澤大学、芝浦工業大学２名、女子美術大学２名、玉川大学、東海大学２名、東京工科大学、東京女子体育大学、東京造形大学３名、東京電機大学、東京福祉大学、法政大学２名、日本大学、武蔵野美術大学、明治学院大学、和光大学、関東学院大学、立命館大学、以上の103名が合格しました。この他にも、私立短期大学では、函館短期大学、八戸学院大学短期大学部３名、仙台青葉学院短期大学４名、昭和音楽大学短期大学部、以上の10名が合格、看護医療系専門学校では、東北メディカル学院５名、八戸保健医療専門学校、仙台医療福祉専門学校、以上の７名合格、専修・各種学校には19名合格、文科省管轄外の学校では、京都伝統工芸大学に合格しました。就職においては公務員では、青森県警、宮城県警、警視庁、海上自衛隊一般曹候補生、航空自衛隊一般曹候補生、陸上自衛隊一般曹候補生２名、自衛官候補生５名、以上の12名合格、民間企業には18名合格という結果でした。

〈4月〉６日に256名の新入生を迎え、第44回入学式が挙行されました。また、附属中学校の開校式が行われ、17名の新入生が入学しました。14日、年度始カレッジコース集会にて地域の方々による講話が行われ、本校卒業生の外和信哉さんを含めた３名のお話を聞き、高校生活に向けてのモチベーションを高める機会となりました。20日～22日の三日間に渡り、ＳＣクラス全学年合同合宿が小川原湖青年の家にて行われ、大学受験に向けた今後の学習のあり方を学びました。23日、子供の読書活動優秀実践校として、高等学校26校中の一校に本校が選ばれ、子どもの読書活動推進フォーラムにおいて「文部科学大臣賞」が表彰されました。

〈5月〉28～29日、美術コース全学年による校外スケッチ実習が、八戸の蕪島と十和田の奥入瀬渓流とに分かれて実施されました。

〈6月〉２日～５日にかけて高校総体が行われました。また、美術コース二年生、大村はるかさんの大会ポスターが最優秀賞を受賞しました。14日、二学年総合的な学習の時間で系統別施設見学を実施しました。青森地方裁判所八戸支部・さくら幼稚園・東北電力八戸メガソーラー発電所・八戸西検診プラザを見学し、人文系は、国際交流会、美術系はコミュニティーデザイン講義を実施しました。16日、蕪島・館花岸壁・第３魚市場周辺にて、本校情報ビジネスコースの全生徒が、清掃奉仕活動を行いました。茂みや波打ち際には漂着したと思われるゴミが散乱しており、生徒はその付近のたばこの吸い殻やペットボトルなどのゴミを一つ一つ拾い集めました。同日、カレッジコース看護系希望者を対象に「みんなで話そう看護の出前授業」が実施されました。十和田市こっこまんま助産院の山端澄子氏を迎え、命の大切さや心の話、更には看護技術体験をし、看護職についての理解を深めました。

〈7月〉15日～19日にかけて学校最大行事の二高祭が行われ、特に２日間の文化祭一般公開では、千六百人の来校者にお越しいただきました。【二高祭の様子←】

21日～22日、東北大学浅虫海洋生物学教育研究センターで、臨海実習を行いました。キタサンショウウニの放卵・放精、顕微鏡下での受精、そのあと２０時間後のプリズム幼生までの発生の様子を観察しました。夜は、ウミホタルを採集し発光実験を行い、新鮮なホタテの解剖もしました。24日～25日、厚生労働省主催進路ガイダンスが３年就職希望者を対象に実施され、現在の就職状況について理解し、求人票の見方や自己ＰＲの仕方などを学びました。28日、中学生を対象とした夏の体験入学を開催し、大変多くの中学生や保護者の皆様に参加していただきました。27日、第10回全国理容美容学生技術大会東北地区大会（理美容甲子園）ヘアデザイン画中学・高校生の部において美術コース二年生小林蒼夏さんが最優秀賞、他４名が優秀賞を受賞し、全国大会に出品されました。

〈8月〉２日～３日の２日間にわたり、スーパーカレッジクラスの一年生と二年アクティブカレッジクラス理系の二年生が八戸工業大学を訪れ、サマーサイエンスプログラム（S.S.P）に参加しました。学科ごとに７系統に分かれ、大学の先生方から講義を受け、充実した設備を使用して本格的な実験などに取り組みました。２日～３日、メディカルカレッジクラス２年生が、八戸西病院にてインターンシップを行いました。６日～７日、毎年恒例の読書合宿が本校にて実施されました。八戸ブックセンターを見学し、充実したグループ活動が行われました。６日、八戸東消防署から講師を招いて、救急法講習会が行われました。運動部一、二年生を中心にお

【観光ボランティア←】

よそ50名の生徒が参加しました。10日、「鮫蕪島・種差観光ガイドボランティア」が実施され、蕪島、葦毛崎展望台、種差海岸の三か所で生徒130名がガイドを行いました。県内外を問わず訪れた多くの観光客のみなさんに、自作のスケッチブックを手に地域の歴史や文化などについてガイドをしました。29日、校内弁論大会が行われ、二年生の澤口佳恵さんが第一位、小林蒼夏さんが第二位となり、県高校総合文化祭弁論部門に出場が決まりました。〈9月〉８日、八戸ポータルミュージアム「はっち」にて開催された「国際交流フェスタｉｎはちのへ」で、本校生徒が国際交流活動について発表しました。二高もパネルを展示し、オーストラリア異文化体験プログラムについてＰＲしました。29日、スーパーカレッジクラスの登校学習会で仲間同士の親睦を深めようと、「ＳＣ頭脳選手権」が開かれました。テレビでおなじみの「高校生クイズ」のような企画で、終了後は獲得した賞品のお肉を焼いて食べました。30日、八戸ポータルミュージアムはっちにて、デーリー東北新聞社・八戸学院大学主催「ビブリオバトルｉｎハチノヘ」が開催され、高校生の部に本校から８

県高等学校総合体育大会ポスター
最優秀賞　２年　大村はるかさん

名（一年生７名、二年生１名）の生徒が出場しました。中でも、カレッジコース一年生の橋爪駿君が見事予選を勝ち抜き、11月に開催される決勝大会に進出を決めました。29日、青森市のワ・ラッセで中学生対象の美術セミナーが実施されました。

〈10月〉10日、情報ビジネスコース一、二年生が課題探求学習を行いました。講師に八戸市「まちぐみ」組長の山本耕一郎氏と八戸ポータルミュージアムはっち職員の斎藤彩氏を迎え、中心街活性化のための活動や地方の直面している課題とその対策について学びました。14日、八戸ショッピングセンターラピアにおいて、中学生美術セミナーを実施し、県南の中学生に数多く集まっていただきました。12日、本校調理室のガスコンロとガスオーブンがリニューアルしました。以前のものに比べて機能が充実しており、より調理がしやすくなりました。12日～14日まで第39回高総文祭が行われました。美術工芸部門では美術コース二年生の小保内亜海さんと種市萌さんが最優秀賞を受賞し、平成31年度の全国高総文全国大会参加が決まりました。14日、岩手県陸前高田市の仮設住宅に生徒会と美術コースの生徒が訪問してボランティア活動を行い、美術コース生が描いた絵画作品を寄贈しました。21日、デーリー東北新聞社にて「第４回コラムに挑戦『私の天鐘』コンクール」の表彰式が行われ、カレッジコース二年生の石戸谷晃成君の作品「記憶」が高校生の部で優秀賞を受賞しました。23日、金井宣茂宇宙飛行士の報告会が本校にて行われ、ミッション中の出来事についてや宇宙の不思議についての質問、ＪＡＸＡの方による宇宙に関わる仕事についてのお話などを聞く事ができ、盛会のうちに終えることができました。

〈11月〉８日、デーリー東北主催第９回「デーリー東北　新聞感想文コンクール」の受賞者が発表され、高校の部306編の応募のうち本校カレッジコース１年生、蛯名智美さんの作品が最優秀賞を受賞しました。最優秀賞の他、優秀賞２名、入選４名と多くの賞に輝き、優秀学校賞にも本校が選ばれるという快挙を達成しました。17日、一年生を対象に、青森県内の大学生約60名が集まり、「大学生による高校生へのキャリアサポート」が開催されました。大学生は県の各地域からボランティアで集まり、イベントを盛り上げました。「今」をテーマに、大学生の皆さんから、自分の高校時代の振り返りや大学での学び、そして将来の夢を熱く語っていただきました。同日、デーリー東北にて「知的書評合戦第５回ビブリオバトルｉｎハチノヘ」の決勝戦が行われ、カレッジコース一年生の橋爪駿君が「準チャンプ本」を獲得しました。22日、国税庁主催の第57回「税に関する高校生の作文」で、二年生の吉田涼那さんと上野桜さんが、仙台国税局長賞、八戸税務署長賞をそれぞれ受賞しました。26日～30日にかけて二学年修学旅行がありました。コースは広島・京都・奈良・大阪を巡り、平和への願いや日本文化を学びました。

〈12月〉１日、中学三年生対象「冬の受験講習会」が開催され、中学生と保護者合わせて約400名が受講しました。同日、本校中庭にイルミネーションが設置されました。昨年よりもバージョンアップし、色鮮やかに中庭を彩りました。14日～16日にかけて、八戸ポータルミュージアムはっちにおいて美術コース作品展が行われ、千三百名以上の来場がありました。今年も生徒達が作品を解説するギャラリートークを実施し、集まった観客の皆さんは興味深く聞いていました。

【展示の様子←】

19日、本校卒業生の大庭れいじ氏による自主映画「マイホーム」の上映が行われました。上映後には出演者の皆さんによる舞台挨拶もあり、大いに盛り上がりました。

〈１月〉24日～25日に情報ビジネスコース一、二年生が八幡平リゾートでスキー教室を行いました。

お知らせ

吹奏楽部定期演奏会
平成31年３月20日（水）
開場　十六時三十分
開演　十七時
八戸市公民館にて無料

第20回仙台支部同窓会
H30.6.9　千の庭にて

第41回関東支部同窓会
H30.6.23　お茶の水ホテルジュラクにて

各同窓会パーティーに皆様ご参加ください！

先生方や同窓生と一緒に
楽しい一時を過ごしませんか？

第43回同窓会納涼パーティー
H30.8.11　八戸パークホテルにて